



1. 全中貿大阪連盟 経済講演会

大阪連盟では、2月28日に大阪商工会議所にて他の経済団体と共に時局・時事講演会を開催致しました。講師と演題は下記の通りです。講演はそれぞれ、大変好評でしたが、特に「米国新政権における政治経済の見通し」について高い関心が向けられました。(受講者数 182名)

【第1部】

「特惠原産地規則における累積制度」

◆講師：(一財)日本貿易関係手続簡易化協会 (JASTPRO)
業務二部長 今川 博 氏

【第2部】

「米国新政権における政治経済の見通し」

～トランプ大統領とペンス副大統領の政策展望～

◆講師：日本貿易振興機構 (ジェトロ)
理事 眞銅 竜日郎 氏

【第3部】

「最近の金融経済情勢と金融政策運営」

～平成29年の関西経済はどうなる？～

◆講師：日本銀行大阪支店
副支店長 宮下 俊郎 氏



▲ JASTPRO 今川部長

各講演の内容は以下の通りです。

第1部「特惠原産地規則における累積制度」：EPA・FTAの特恵制度を最大限活用する手法についての内容で、特に原産品の判定に関し、累積規定を含めた詳細な説明がなされました。

第2部「米国新政権における政治経済の見通し」：トランプ新大統領とペンス副大統領による今後の政策の展望とトランプ政権の通商政策、移民政策、米国の経済状況、日本企業の米国への貢献度、またメキシコと米国との関係など多面的な観点から説明がなされました。

第3部「最近の金融経済情勢と金融政策運営」：世界経済と日本経済の動向と今後の見通しのほか、貿易、個人消費、設備投資の動向、また労働需給等についての説明がなされました。更に関西経済の現状に触れ、設備投資やインバウンド需要の増加など明るい面について説明がありました。

なお、全中貿兵庫連盟も、2月17日(金)、神戸市産業振興センターに於いて大阪連盟と同内容の講演会を開催致しました。(但し大阪連盟の第1部、第2部のみ)

▼ 日本銀行 宮下副支店長



▼ ジェトロ 眞銅理事



▲ 宮下副支店長と伊藤理事長



▲ 会場の様子



隣の社長さんも
海外展開 始めたらしいですよ。
あのサイトを使って。

SWBS

中小企業ワールドビジネスサポート



SWBSの3つの特徴・メリット

1. 海外展開のノウハウ：最新の現地ビジネス情報やノウハウ、成功事例を紹介します。
2. 簡単検索：貴社の海外ビジネスをサポートする企業・団体を検索できます。
3. イベント情報：セミナー、展示会、補助金などの情報をお届けします。

Webサイトはこちら



<https://swbs.smrj.go.jp>

SWBSとは？

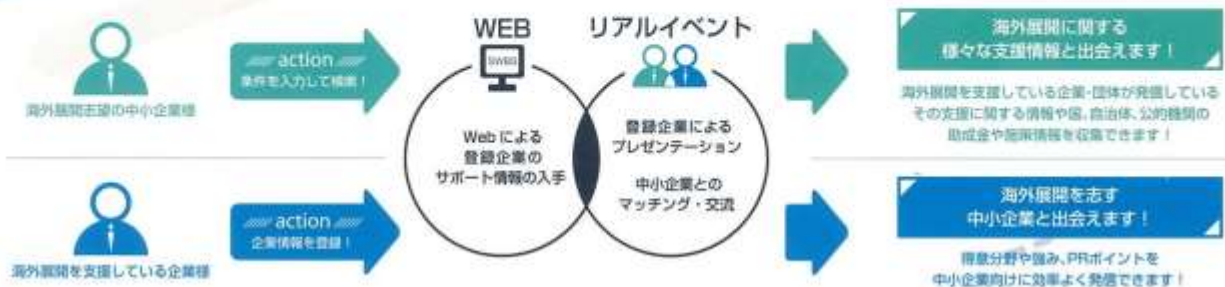
中小企業が海外展開に成功するためには、
公的機関やさまざまな民間事業者のサポートを活用することが近道となります。

SWBSとは、中小機構※1が運営する、海外展開に意欲的な中小企業と海外展開をサポートする企業・団体(SWBS登録企業)との出会いの場をWEBとリアルイベントでご提供するサービスです。

※1 経済産業省所管の独立行政法人で、全国10か所に拠点を構える、我が国で唯一の中小企業施策全般に亘る総合的な支援実地機関です。

SWBSをぜひご利用ください！

海外展開志望の中小企業 と 海外展開を支援している企業、どちらにもメリットがあります！



海外展開を希望する企業様向け

御社の海外展開の課題を解決します！



海外展開をしたい！
でもどこに相談したらいいのだろう？

SWBSサイト内から
あなたのパートナーを検索できます！

STEP1 下記アドレスからサイトへ

URL : <https://swbs.smrj.go.jp/>

中小機構 SWBS から検索も！

STEP2 必要項目を選択、又はフリーワード検索！

HP内上部タブの

“SWBS 登録企業から海外展開パートナーを探す”を選択

国で検索 支援内容で検索 フリーワードで検索 から、

パートナー候補がヒット！相談してみましょう！

海外展開を支援している企業様向け

SWBSサイトへの登録について

募集中！

中小企業の海外展開を支援している
企業、団体の皆様はぜひご登録を！
大企業、中小企業は問いません！

登録料金、年会費は永久に無料！
登録説明会も随時開催しております！

STEP1 下記アドレスからサイトへ

URL : <https://swbs.smrj.go.jp/>

中小機構 SWBS から検索も！

STEP2 お申し込み内容を入力！

HP内上部タブの“登録方法・FAQ”より
お申し込み内容を入力後、ご登録完了です！

掲載登録頂く企業様は続々と増えていきます！
また、SWBSサイトは5月に更に検索しやすくなりました！
今後も皆様にお役立て頂けるよう随時改訂を予定しています。

是非お早めにご登録下さい！

お問い合わせ先

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 販路支援部 SWBS 運営事務局
TEL : 03-6402-4679 FAX: 03-5470-1527 MAIL : swbs@smrj.go.jp

2015年、全中貿主催の経済使節団で訪問したトルコのイズミールから投資誘致の案内が届きました。

イズミールの位地



イズミールは400万の人口を有するトルコ第3の大都市です。地理的にはヨーロッパに近接し、利便性が高い港の存在がイズミールを重要な流通と管理の中心地にさせました。

イズミールで計2,235の外資系企業がビジネスを行っており、貿易総額は171億ドルになります。

写真 1: イズミール港



イズミールは年間数えきれないほどの展覧会、コンサート、映画鑑賞会などが行われ、歴史的・文化的な豊かさとともに、安全で質の高い生活をおくる事ができる都市です。

写真 2: アラチャトウ(イズミール)



米国研究機関ブルッキングス研究所とJPモルガン・チェースにより発表された「Global Metro Monitor (グローバル・メトロ・モニター)2014」レポートによると、イズミールは世界で2番目に急成長している都市です。

2011年に行われたマスターカードの生活指標調査によりトルコで最も暮らしやすい都市、2012年には開発省の人的資本指数によりイズミールは、トルコで最高水準を持つ都市だと明らかにされました。

イズミールのこれらすべての成果が海外の投資家たちの関心を引き、イズミールへの重要な投資のきっかけになりました。近年、日本の国際的な企業たちもこの傾向に合わせイズミールとその近郊に投資をし始めました。

現在イズミールとその近郊に投資を行っている日本企業

- 日本ハム: 日本の大手食品加工メーカー。イズミールの養鶏事業会社Ege-Tav (エゲ・タウ)社の60%の株式を7,200万ドルで取得した。
- 株式会社デンソー: 2014年後半、世界最大の自動車部品メーカー・デンソーは、イズミールで製造業を行うDJ COOL(DJクール)社の50%を買収した。日本企業がDJ COOL社とともにバス・トラクター空調部門に最初の一步を踏み出した。

- ビジョン株式会社: 日本のビジョンは連結子会社Lansinoh(ランシノー)投資のためにイズミールを選んだ。Lansinohは2016年にエーゲ自由貿易地区に建設された8,000㎡の工場で、シングル・ダブルポンプ母乳さく乳器、手動母乳さく乳器、哺乳瓶や乳首の生産を開始した。
- GS ユアサ・コーポレーション: 日本企業がイズミールのİnci Holding(インジ・ホールディング)と共同でバッテリーの生産と研究開発契約を交わし、イズミールで事業を開始した。
- 郵船ロジスティクス: 世界有数の物流企業である日本郵船は、イズミールのİnci Lojistik(インジ・ロジスティック)との合併を決めた。郵船は2014年にİnci Lojistikの株式の32%を取得した。世界40カ国で事業所と17,000人の従業員、陸・海・空の運送とコントラクト・ロジスティクスの分野での経験とともに世界の物流企業のトップ15に入る郵船ロジスティクスは、2012年10月1日の日付で郵船ロジスティクス・トルコの名とともにトルコでの事業を開始した。
- サンケミカル: DICグループ企業であるサンケミカルは、トルコで3番目となる工場をAliğa(アリアーア)に設立した。パッケージ用溶剤系リキッドインキを製造する設備として3,000万ドルの投資が行われた。Aliğaからヨーロッパ、近隣諸国や更にはオーストラリアへ集中的に製品・インクの輸出が行われる。
- 東洋インキグループ: 日本企業がイズミールのYaşar(ヤシャール)グループの子会社であるDYO Boya(ディオ・ボヤ)社の75%を買収した。
- ヤンマー株式会社: 日本企業がイズミールに地域事業所を開き、トルコ市場に参入した。
- 三菱電機: 三菱電機は、家庭用エアコンを生産するための第二設備をスコットランドの後、トルコに設ける。これに関連して、新会社を設立したこの日本の大手企業は、初期投資額6,000万ドルを投資しManisa(マニサ)に工場の建設を開始した。こちらの工場よりヨーロッパや近隣諸国に向け、製品が送られる予定だ。
- 味の素: 日本の味の素は、Ülker(ウルケル)ブランドを持つYıldız Holding(ユルドゥズ・ホールディング)グループ内Örgen Gıda(オルゲン食品)を6,200万ドルで買収した。35年前に設立されたオルゲン食品はイズミールの工場Bizim Mutfak(ビジム ムトファック)ブランドシリーズで商品を生産している。乾燥食品と粉末食品の製造会社としては、年間45,000トンの生産量を誇りトルコで最も高い生産能力を持つ。

写真 3: エフェスの古代都市(イズミール)



Lansinoh (Pigeon Group) はなぜイズミールに投資をしたのかイズミールに投資することを決意し、ESBAŞ(エスバシ)に工場を設立して事業展開している日本のLansinoh(ランシノー)社の役員の北澤憲政氏に投資先として、なぜイズミールを選んだのかを私達は尋ねました。北澤氏は、イズミールの港・ロケーションがある種の天然の流通センターになっていること、その為にイズミールを一つのハブとして使えることを考えたため、生産拠点をイズミールで展開することは理にかなっているとともに、MENA地域へ製品を送る日本企業たちの拠点になりうると述べました。北澤氏はまた、「イズミールの労働力の質に関して実直な調査を行い、その結果に満足し、それが投資の決定を容易にした」と彼は付け加えました。

写真 4: エーゲ自由貿易地区(イズミール)



イズミール開発機関は政府機関の一つであり、投資家たちに提供するサービスは全て無償で行っており、それに関して料金を請求することはありません。

お問い合わせ: ydo@izka.org.tr www.investinizmir.com +902324898181/139

▶本ニュースに関するご照会・ご意見等は、全中貿事務局（大洋株式会社内）鹿内 までお願いします。
全中貿事務局 TEL/ 06-6443-5810 E-MAIL / zenchubo.jimukyoku@jافتa.jp